



2023年度 ひかり ぐみ



クラスだより

敦賀教会幼稚園

園長 有岡史季

6月23日発行

執筆者 西岡愛海

色とりどりの紫陽花が綺麗に花を咲かせ、皆で植えたとうもろこしは力強く空に向かって背を伸ばし始めました。「背が高い〜!!」「こんなに大きくなったね!!」と成長の喜びを皆で分かち合っています。さて、じめじめとした暑さも吹き飛ばすほどのパワーで、主体となって遊んでいる子ども達。鬼ごっこだけでなく、「中当て」や「だるまさんが転んだ」などのルールのある遊びを楽しんでいます。集団遊びは一人だけではできません。ルールを全員で共有し、正しいルールを守って遊ぶことが大切です。その中で、時には思いが、ぶつかり、言い合いや喧嘩にたがってしまうことも...一つ一つ納得するまで話し合い、お互いの気持ちを知った上で解決ができるよう導いています。様々な葛藤を乗り越え、嬉しさや悔しさ、色々な思いを仲間と分かち合い、相手を思いやる気持ちが育つことを願っています。

花の日礼拝

6月12日には花をきっかけとして神様に創造された美しい自然に興味を持ち、私達も同じように命を与えられていることに気付き感謝する花の日礼拝をお拝げしました。それぞれのご家庭から持ち寄ったお花をじっくりと眺めながら可愛くアレンジをし、湯の里ナーシングホームの方々に手作りカードと一緒に今年も教師がお渡ししました。感謝や喜びをより多くの人と分かち合うことができた嬉しい日となりました。

遊びの中の学びの芽

《マーブリングの場面から》

マーブリング液を水の上に落とし、水面をなぞって色の模様の変化、色彩をじっくりと楽しむ技法、マーブリングを楽しんだ子ども達。継続して好きな遊びの時間にも技法を楽しんでいました。4、5人でしていた時に、Aちゃんが「先生、自分達でやっていた?」と自分達だけで始めました。教師はそれと見ていると...①「うわあ、綺麗な色だね!」「面白い模様だね」と子ども達で声を掛け合い、「そろそろ紙に写す?」「よし、じゃあ紙もらってくるね」とAちゃん。紙をAちゃんに渡すと、「はい! 端の方を挟んでゆくりね!」とHちゃんに渡し、綺麗なマーブリングが出来上がりました。

〈考察〉

① じっくりと自分で表現する楽しさを味わった後に、友達同士で表現する面白さ、喜びを言葉を通して分かち合う姿を見取ることができました。
「豊かな感性と表現」「言葉による伝え合い」が育まれています!!

② 教師の姿や周りを見て、役割を分担し協力し合う中で、「協同性」も育まれていることが分かりました。

自分でやってみよう!!

年長児になり、「僕は〇〇小学校に行くんだよ!」「もうランドセルの色決めたんだよ」と小学校への期待の声から聞こえてくるようになってきました。子ども達が安心して伸びやかに小学校生活を送れるよう、小学校・幼稚園・保育園で情報共有の為、年に数回会議を持つ等して連携を図っています。そんな中、新一年生の現状として、「自分で服のボタンがつけられない」「襟が立ったままなど身なりが整えられない」等、日常生活での困り感があることを知りました。幼稚園では、身支度、排泄、片付けなど様々な場面で丁寧に見守っています。時には時間が掛かる時や、こちらが手助けしてあげたい時もあります。ぐらとこらえて、身の回りのことを自分で整える経験を大切にしています。ぜひご家庭でも、「自分でやってみよう!!」という子ども達の姿を見守っていただけると大きな力に繋がります!!